

(一社) 京都府理学療法士会 令和6年～7年度役員選挙立候補者一覧

立候補役職	氏名(敬称略)	所属施設
会長	アサダ ヒロユキ 麻田 博之	蘇生会総合病院
理事	アビコ テツペイ 安彦 鉄平	京都橘大学健康科学部
理事	イグチ サトシ 井口 聡	蘇生会総合病院
理事	イノウエ ナオト 井上 直人	京都下鴨病院
理事	エヒラ トモコ 江平 知子	聖ヨゼフ医療福祉センター
理事	オクヤマ コウヘイ 奥山 紘平	佛教大学保健医療技術学部
理事	カリヤ ヤスユキ 苅谷 康之	西陣病院
理事	キタ オサム 喜多 修	笠取ふれあい福祉センター
理事	サトウ フミヒロ 佐藤 文寛	京都第一赤十字病院
理事	タゴ ヒロユキ 田後 裕之	京都岡本記念病院
理事	タテウチ ヒロシゲ 建内 宏重	京都大学大学院医学研究科
理事	タムラ アツシ 田村 篤	洛西シミズ病院
理事	ツルタニ ヒロアキ 鶴谷 啓明	株式会社メディケア・リハビリ
理事	ナンカク マナブ 南角 学	京都大学医学部附属病院
理事	ニシムラ ジュン 西村 純	京都済生会病院
理事	バンドウ ミカコ 阪東 美可子	訪問看護ステーション絆
理事	ホリエ ジュン 堀江 淳	京都橘大学健康科学部
理事	マキ カツヒロ 牧 勝広	京都医健専門学校
理事	マドバ カツユキ 窓場 勝之	西京都病院
理事	ヤブウチ ジュンイチ 藪内 潤一	市立福知山市民病院
監事	イシイ ミツアキ 石井 光昭	佛教大学保健医療技術学部

令和6・7年度役員選挙については、会長・理事・監事とも定数以内のため、無投票当選となります。

立候補趣意書

会長候補

氏名： 麻田 博之
勤務先名称： 蘇生会総合病院

・士会役員歴

平成12年度～平成29年度 理事(9期)
平成30年度～令和5年度 会長(3期)

・抱負など(400字以内)

この度、会長に立候補させて頂きました麻田博之です。会長として6年の活動の中で、各種団体との強い絆づくり、行政機関との信頼関係構築などに取り組んできたことが4年目頃から実を結び始めました。これを成果として会員の益となるよう取り組んでまいりたいと思います。また、理学療法士は広い分野で必要とされ認知度も高まってきている一方で、近年は日本理学療法士協会への入会率低下や、理学療法士志望者の減少傾向など、資格や就業魅力が他の職種より低くなってきていることを懸念しています。理学療法士が抱えている様々な社会課題に取り組み、生き生きと活躍できる土台作りを整備するため、会長として引き続き、取り組む機会を頂きますようお願い申し上げます。

立候補趣意書

理事候補

氏名： 井口 聡
勤務先名称： 蘇生会総合病院

・士会役員歴

平成30年～ 広報部部長
令和4年～ 総務部理事

・抱負など(400字以内)

この度、京都府理学療法士会の理事に立候補しました井口聡と申します。私は、平成30年より京都府士会での活動をスタートし、令和4年度からは総務部理事として、より良い士会運営が行えるよう携わらせて頂きました。今年度は診療報酬の改定もあり、今後も理学療法士を取り巻く環境・情勢が変化していく中で、その波に乗り遅れることなく対応していくことが今まで以上に必要となってくるかと思えます。士会の組織力向上と、会員の皆様がより良い環境で業務に取り組めるよう、微力ながら尽力させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

立候補趣意書

理事候補

氏名： 安彦 鉄平
勤務先名称： 京都橋大学

・士会役員歴

2020- 京都府理学療法士会 理事(広報部)

・抱負など(400字以内)

私は、これまでの広報部の経験を生かし、京都府理学療法士会の一層の発展に熱意を持って尽力する所存です。これまでの4年間では、府民の皆様や府士会員との架け橋としてホームページ、メールマガジン、SNSなどを通じた情報発信に注力してきました。次期では、より分かりやすく親しみやすいUIおよびコンテンツを制作したいと考えています。理学療法は障がいの有無にかかわらず、すべての人が健やかに暮らせる社会の実現を目指す職種です。広報活動を通じて障がいや疾病への理解を深め、インクルーシブな地域社会づくりに貢献していきたいです。加えて、組織力向上のために、オンライン上での会員限定の交流の場を設置するなど、会員同士が有益な情報交換ができる新たなプラットフォームの構築を目指します。会員の皆様とともに力を合わせ、よりよい社会を創造できる会の発展に尽力する決意です。

立候補趣意書

理事候補

氏名： 井上 直人
勤務先名称： 京都下鴨病院

・士会役員歴

平成25年～ 生涯学習部 副部長
平成30年～ 生涯学習部 部長
平成31年～ スポーツ推進委員
令和1年～ 生涯学習部 理事
令和4年～ 学術局副局長、スポーツ活動支援医委員会 委員長
令和6年 第34回京都府理学療法学会 大会長

・抱負など(400字以内)

私は、京都府理学療法士会の活動に参加してからずっと生涯学習部に携わってきました。また、一昨年からスポーツ活動支援委員会の委員長として活動し、生涯学習部の活動と同じく、会員の皆様に講習会や現場活動などを通じて知識や技術を高める機会を提供させていただきました。コロナウイルスによる自粛期間が明けてから、対面で一緒に活動させていただくことができるようになり、以前のように京都府理学療法士会の中でのつながりが徐々に戻ってきているように思います。ただ、まだ以前と同じようには戻ってはいないので、これからも活動の機会を提供させていただきたいと考えております。また、今年度は第34回京都府理学療法学会の大会長という大役を任せていただきました。せっかく貴重な機会をいただきましたので、開催場所も内容も今までとは一味違うものにし、様々な分野、考えの方に実りのある学会大会にしたいと考えております。

立候補趣意書

理事候補

氏名：江平 知子
勤務先名称：聖ヨゼフ医療福祉センター

・士会役員歴

2016年～京都府理学療法士会 理事 業務推進部(現職能部)担当
2018年～京都府理学療法士会 理事 社会局局长

・抱負など(400字以内)

私は、これまで4期8年京都府理学療法士会の理事を務めてまいりました。この間、社会局で士会員同士のつながりを深めること、府民の理学療法士への理解を広めることに対する施策を行ってまいりました。しかし、この間感染症への対策に追われて、十分に任務を遂行できていないこともあります。

これからの2年は、再び対面で行う事ができるようになった士会の取り組みを充実させ、次の世代へ繋げていく事を行なっていきたいと思っております。

そのために理事として士会活動に尽力させて頂けますようよろしくお願い申し上げます。

立候補趣意書

理事候補

氏名：荻谷 康之
勤務先名称：西陣病院

・士会役員歴

1990年度～1995年度 京都府理学療法士会 財務部 部長
1996年度～2015年度 京都府理学療法士会 財務部 理事
2016年度～2017年度 京都府理学療法士会 副事務局長 兼 財務担当理事
2018年度～現在 京都府理学療法士会 副会長 兼 事務局長

・抱負など(400字以内)

2018年度より副会長兼事務局長として士会内外の事務的な取りまとめと共に他士会・他団体との協働事業や連携に携わらせて頂いております。

年々、行政や協会からの依頼事業や理学療法法の啓発に必要な活動の為に士会で取り組む事業が多くなっています。事業の増加に伴い事務業務や広報活動の増加がみられることになり事務局としての作業量も多くなっている状況です。事務員さんや各部部員の負担軽減の為、今後事業・作業の効率化を図る必要があると考えております。

また今年度は新生涯学習システム改正までの中間点となり、登録理学療法士取得・更新に対してより情報発信が必要になると考えています。士会員の皆様がメリットを感じて頂ける情報発信を多く行ない、士会活動にご興味を持っていただける様努力していく所存です。

上記により今期につきましても理事として立候補させていただきます。

よろしくお願い致します。

立候補趣意書

理事候補

氏名：奥山 紘平
勤務先名称：佛教大学

・士会役員歴

2011年～現在 新人教育部 部員(2018年～ 副部長)
2020年～現在 認知症対策委員会 委員
2023年～現在 地域局 市中(中京区) 委員
推薦派遣委員
2019年～現在 下京区・南区・東山区在宅医療・介護連携支援センター運営会議
2021年～現在 障害支援区分判定等審査会

・抱負など(400字以内)

この度、京都府理学療法士会の理事に立候補させていただきます。奥山紘平と申します。これまで主に新人教育部で部員、副部長として士会の活動に携わってきました。また、認知症対策委員会や地域局中京区支部の委員としても活動しております。これまでの経験を生かし、微力ながらも京都府理学療法士会をより魅力的な組織にしたいと考えています。

理学療法士への社会的ニーズは年々多様化しており、少数の職場で働く理学療法士の数も増えています。若い世代の会員の皆さまが対応に苦慮される場面もあるかと思っております。そうした時、京都府理学療法士会が皆さまにとって頼れる拠り所となるよう努めてまいりたいと思っております。

次世代を担う会員の皆さま、そして諸先輩方の会員の皆さまと協力し、さらに努力を重ねていく所存です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

立候補趣意書

理事候補

氏名：喜多 修
勤務先名称：笠取ふれあい福祉センター

・士会役員歴

2018年～ 社会局 職能部 副部長
2020年～ 社会局 職能部 部長

・抱負など(400字以内)

この度、一般社団法人理学療法士会理事に立候補させていただきます。笠取ふれあい福祉センターの喜多修です。京都府内理学療法士の地位向上と生産性向上を目指します。京都府理学療法士会での活動としては、社会局職能部で管理者、小児分野、在宅ケアネットワークで学びと職場以外の人とつながる機会を部員とともに提供してきました。管理者の成長が生産性・質の向上となり、小児や在宅ケアでは一般病院と比べて機会が少なく、ネットワークの重要性を再認識しました。現在の京都府理学療法士会に介護分野の理事は少なく、違う視点から事業運営の課題や地域の課題に取り組みます。府民の患者様、利用者様をはじめとした対象者の利益が最大限に得られるため本会の発展に寄与できるよう努めてまいります。

立候補趣意書

理事候補

氏名：佐藤 文寛
勤務先名称：京都第一赤十字病院

・士会役員歴

2003～事業推進部部員（現 公益事業部）
2016～2017 理事 業務推進部担当
2018～2023 理事 社会局副局长

・抱負など（400字以内）

私が当士会の公益事業に携わらせていただきました20余年を振り返りますと、府民における理学療法士の認知度は向上し、医療、介護に加え、予防、フィットネスなど理学療法士が期待される場面は増えてまいりました。この先、すべての団塊の世代が後期高齢者となり、そのあとには高齢者が減る時代がやってきます。時代の変化に対応しながら、介護予防事業の在り方、府民の健康づくり、まちづくりについて考えていく必要があります。

府民、社会に理学療法士が選ばれるために、士会としてすべきことは何か、いかに理学療法士の力をアピールするか考え事業展開してまいりたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

立候補趣意書

理事候補

氏名：建内 宏重
勤務先名称：京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

・士会役員歴

2012年4月 新人教育部部長
2020年6月 新人教育部理事
2022年6月 学術局局长、新人教育部理事

・抱負など（400字以内）

京都府理学療法士会において、私はこれまで主に新人教育部で部員、部長、理事として、また、2022年からは学術局の局長を務めて参りました。

新人教育は、理学療法士としての生涯学習の中でも極めて重要な意味を持つと考えています。生涯にわたって研鑽を続け、社会から求められる医療専門職であり続けるためには、その入り口で、理学療法の可能性を感じ、自らの明るい将来像を思い描けなければなりません。

2022年度から新しい生涯学習制度が開始され、卒後教育のシステムがこれまでと大きく変わりました。しかし、制度が十分に浸透しているとは言えない状況にあります。京都府理学療法士会会員がスムーズに制度を利用していけるよう、会員への情報・事業提供を適切に行っていく必要があります。理事として、微力ながら京都府理学療法士会のさらなる発展に尽力する所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

立候補趣意書

理事候補

氏名：田後 裕之
勤務先名称：京都岡本記病院

・士会役員歴

平成22～25年度（社）京都府理学療法士会 公益事業部 部員
平成26～29年度 同 社会局保険部 部長
平成30～令和元年度 同 社会局副局长及び保険部、災害対策部理事
令和2年～5年度 同 地域局長及び災害対策部理事、（公社）日理協 代議員
平成26年度 第25回 京都府理学療法士学会 準備委員長
平成28・29年度 （公社）日理協 職能課生活期ワーキンググループ 協力委員
令和元年度 第59回 近畿理学療法学術大会 運営局長

・抱負など（400字以内）

2024年は6年に一度の診療（医療）、介護、障害福祉のトリプル報酬改定の年です。急性期・早期リハ、重傷者リハの充実、栄養・口腔管理との連携と併せて医療・在宅連携、地域包括ケア、地域共生社会構築推進への積極的関与が求められています。また災害に対する更なる体制（支援、受援、防災）整備が急務であることも露呈しました。今後、地域社会から「理学療法士は必要！」と認めていただくには、個々への直接支援だけでなく、疾患予防や健康寿命延伸に向けた間接的支援、更には問題が生じにくい環境への働きかけも不可欠で、理学療法士としてあらゆる状況、環境、要請、変化への柔軟な対応、連携・調整能力と多様性を配慮した実践力が求められます。京都府理学療法士会が横の繋がりを構築しつつ専門職としての資質向上と地域住民・社会における公益性を担っていけるよう微力ながら一端に加わりたく立候補をいたしました。どうぞよろしく願いいたします。

立候補趣意書

理事候補

氏名：田村 篤
勤務先名称：医療法人清仁会 洛西シミズ病院

・士会役員歴

2020～2023年 京都府理学療法士会 理事

・抱負など（400字以内）

この度、京都府理学療法士会の理事に立候補しました田村篤と申します。3期目の立候補となります。現在はグループ病院のリハビリテーション科全体の統括責任者として従事しております。管理職として人事や運営、マネジメントを考えていく中で、臨床現場で働くスタッフが働きやすい環境を作ることは、結果としてより良い理学療法が提供できることとなり、臨床であろうと管理職であろうと目指すところは同じだと感じております。そこで、本会の活動に関わらせて頂き会員の環境をより良いものにすることは、結果的にリハビリテーションを必要とする方々に、より良い理学療法が提供できると考え、引き続き従事させて頂きたく立候補させて頂きました。

立候補趣意書

理事候補

氏名： 鶴谷 啓明
勤務先名称： 株式会社メディケア・リハビリ

・ 士会役員歴

2016 業務推進部部員
2017 業務推進部副部長
2018-2019 職能部部長
2020-2023 理事
2020-2021 地域包括ケア委員会委員
2022-2023 地域包括ケア委員会委員長

・ 抱負など (400字以内)

引き続き、京都府理学療法士の理事に立候補させていただきます。2020年から理事として士会活動を行わせていただいております。現在は地域局の副局長としてブロックの活動のサポートをさせていただいております。現在私は地域を中心に在宅へ訪問や学校訪問を行っており小児～大人まで関わらせていただいております。理学療法士が地域でいきいきと活動し職域が広がるように士会活動を通じて皆様に還元できればと思います。
微力ながら引き続き働くことができたと考えております。

立候補趣意書

理事候補

氏名： 西村 純
勤務先名称： 済生会京都府病院

・ 士会役員歴

2008年～2016年 新人発表部部長
2016年～ 学術局・新人発表部担当理事

・ 抱負など (400字以内)

このたび、京都府理学療法士の理事に立候補しました。PTになってから、すぐに生涯学習部の部員として活動を始め、その後は新人発表部部長・理事として、研修会の開催や新人症例発表会の運営に携わってきました。今まで士会にお世話になってきた分を、少しでも返していけたらと思っています。
2年前に生涯学習プログラムが大きく変更となり、新しいシステムが開始となりました。「新型」と呼ばれたウイルスによる影響で変わってしまった研修会などのあり方が、少しずつ元に戻ろうとしています(元に戻るのではなく、進化するのかもしれない)。新人症例発表会も今までの士会が開催する形から、各職場で開催できるようになるなど大きく変わっています。まだまだ情報は浸透したとは言えず、今後できるだけ今の方式を皆さんに受け入れてもらえるように尽力したいと思います。それによって、少しでも京都府理学療法士の皆様のお役に立てればと考えています。
よろしくお願ひ致します。

立候補趣意書

理事候補

氏名： 南角 学
勤務先名称： 京都大学医学部附属病院

・ 士会役員歴

平成24～29年度 総務部 部長
平成30～令和5年度 財務担当理事
平成17～28年度 選挙管理委員長
第27回京都府理学療法士学会会長

・ 抱負など (400字以内)

財務担当理事、総務部部長、選挙管理委員長、第27回京都府理学療法士学会の学会長として、京都府理学療法士の活動の発展に関わってきました。今後も理事として、会員の皆様のご支援をいただきながら京都府理学療法士のさらなる発展のために微力ながら貢献したいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

立候補趣意書

理事候補

氏名： 阪東 美可子
勤務先名称： 訪問看護ステーション絆

・ 士会役員歴

平成9年度～21年度 保健福祉部員
平成22年度～23年度 介護保険部長 平成24年～25年度 保険部長
平成26年度～29年度 業務推進部長
平成30年度～31年度 社会局 理事(業務推進部)
令和2年度～3年度 地域局 副局長
令和4年度～5年度 社会局 理事(職能部)・地域局 理事(乙訓支部)

・ 抱負など (400字以内)

活動のきっかけを探している方や動く事、サポートにより活性化が図れる方に対し、一歩踏み出す機会を作り活かせるよう、理学療法士同士のつながりを支援、強化を更に行っていく。また多職種と共に動き、貢献できる団体として存在価値を高めていく事を目指す。
① 会員が情報を共有しやすい意見交換の機会を増やし、力になれるようにする。
② 会員の地域貢献や活動への参画を助け、自己実現に向けて共に歩む。
③ 外部団体と関わりを持ち、会員の益となるよう計らう。

立候補趣意書

理事候補

氏名：堀江 淳

勤務先名称：京都橋大学

・士会役員歴

2016年～京都府理学療法士会理事、2017年第28回京都府理学療法士学会大会長、2018年～京都府理学療法士会学術局長、2022年～京都府理学療法士会副会長

・抱負など(400字以内)

私は、これまで京都府理学療法士会で役員として多くのことを経験させていただきました。特に、会員の皆様の学術的なサポート、生涯学習の提供を中心に行ってきました。これまでの経験を活かし、これまで以上に、会員の皆様の学術的取り組みのお手伝いができれぱと考えております。今回、立候補するにあたっての私の抱負は、理学療法士の専門性を高めるための継続教育プログラムの拡充を図ります。最新の治療技術や研究成果を共有し、全ての会員が常に最先端の知識を持ち続けられるように活動したいと考えます。また、新人理学療法士に対する実践的なスキルと理論を統合した教育体系を構築したいと考えます。皆様の支持を賜り、共にプロフェッショナルとしての誇りを持って前進できれぱと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

立候補趣意書

理事候補

氏名：窓場 勝之

勤務先名称：西京都病院

・士会役員歴

成20年4月 京都府理学療法士会 生涯学習部部員 (平成30年3月まで)
第28回京都府理学療法士会準備委員長 (平成29年)
平成30年4月 京都府理学療法士会協会理事 (生涯学習部)

・抱負など(400字以内)

私は平成20年4月から本士会の生涯学習部部員として11年間、微力ながら運営に協力させていただきました。また、1年間ですが生涯学習部の理事も務めました。この経験から、常に感じていたことは、運営側で献身的に協力いただいている部員の皆さんへの尊敬の念でした。部員の皆さんの協力なくして士会の運営は成り立たないといっても過言ではありません。私が考える士会の運営は、3つの柱で支える組織の運営を考えています。1つは、運営側(士会理事役員組織)の団結、2つ目は士会部員の皆さんとの会話、3つ目は会員の皆さんとともに京都府理学療法士会を盛り上げる活動や時代や医療・介護の施策に対応した取り組みの実践です。京都府理学療法士会は令和7年に創設55周年となり、今後記念事業の企画や準備なども控えている状況にあります。そのような中で、より一層の発展を当士会にもたすため、また入会いただいている会員皆様のため尽力する所存です。

立候補趣意書

理事候補

氏名：牧 勝広

勤務先名称：京都医健専門学校

・士会役員歴

・抱負など(400字以内)

この度、京都府理学療法士会理事に立候補しました牧勝広と申します。臨床現場で10年、教育現場で8年にわたり理学療法士として活動してきました。特に教育現場においては世代特徴の変化、コロナ禍を経てICTツールの活用等、教育環境の変化にも対応してまいりました。その経験を踏まえ、異なる世代間での意見交換や情報共有の場を提供できれぱと考えます。未来の業界を担う若手理学療法士が、自身で選択した職業に誇りを持って将来的に活躍できる環境を整える事は重要であると思います。若手理学療法士が士会活動に積極的に参加しやすい環境を構築し、様々な世代の視点や価値観を凝集させ、本会及び会員の活動がより多様性と包括性を持つものとなるよう微力ながら尽力させて頂きたいと思ひます。皆様からのご支援頂きますよう、よろしくお願ひいたします。

立候補趣意書

理事候補

氏名：藪内 潤一

勤務先名称：市立福知山市民病院

・士会役員歴

・2016年・2017年：京都府理学療法士会北部研修部部員
・2018年～2023年：京都府理学療法士会北部研修部部長
・2023年：第33回京都府理学療法学術大会企画部

・抱負など(400字以内)

この度、京都府理学療法士会理事に立候補させて頂きました藪内潤一です。これまで、京都府理学療法士協会学術局北部研修部で活動し、主に京都府北部地域での研修会の運営に関わらせていただてきました。ここ数年の京都府士会の活動は、これまでの協会運営を基盤に、組織強化に向けたブロック化の構築や他職能団体との連携強化など、理学療法士の未来のための活動を実感しております。この中で、中丹・北部圏域でも様々な活動が行われていますが、ブロック活動にはまだまだ地域間格差や施設間での偏りがみられるなど課題も抱えていると考えています。これらの課題に対して、顔の見える関係、ネットワークの構築を基に、これまで府士会が取り組んできた事業や地域活動を継承しつつ、関係団体や多職種とも連携しながら、これらの問題の解消に努めてまいりたいと考えております。若輩者ではございますが、会員皆様のご支援を賜りたくよろしくお願ひ致します。

立 候 補 趣 意 書

監事候補

氏 名： 石井 光照

勤務先名称： 佛教大学

・士会役員歴

2006～2010 会誌編集部長, 2010～2020 理事, 2018～2022 日本理学療法士協会代議員, 2022[〃] 監事, 第 23 回京都府理学療法士学会会長, 第 53 回近畿理学療法学会準備委員長, 第 59 回近畿理学療法学会会長

・抱負など (400 字以内)

養成校を卒業以来, 37 年間, 京都府理学療法士会員として歩んできました。また臨床と教育機関の双方を経験し, 勤務先も北部と京都市内を経験して, 京都府下の様々な事情やニーズの時代による変化を感じてとってきました。昨今の理学療法士を取り巻く状況は, 近未来に危機的な事態に至ることが予想されます。それに対する取り組みが喫緊の課題です。今回, これまでの士会活動の経験を踏まえて, 再度監事として次代につながる活動をする意思を固めました。